

16th-18th Century
EUROPEAN PAINTINGS

from The National Museum of Art of Romania
and The National Brukenthal Museum



エル・グレコ(聖母の婚約)ルーマニア国立美術館

ルーマニア国立美術館・ブルケンタール国立博物館所蔵

16-18世紀 ヨーロッパ 絵画展

クラナハ、エル・グレコ、ルーベンス、レンブラント...

'95.8.5(SAT)▶9.3(SUN)

開館時間 / 午前9時～午後5時(入室は午後4時30分まで) 初日は午前10時開展
毎週金曜日は午後7時まで開館(入室は午後6時30分まで) 月曜日休館

高松市美術館

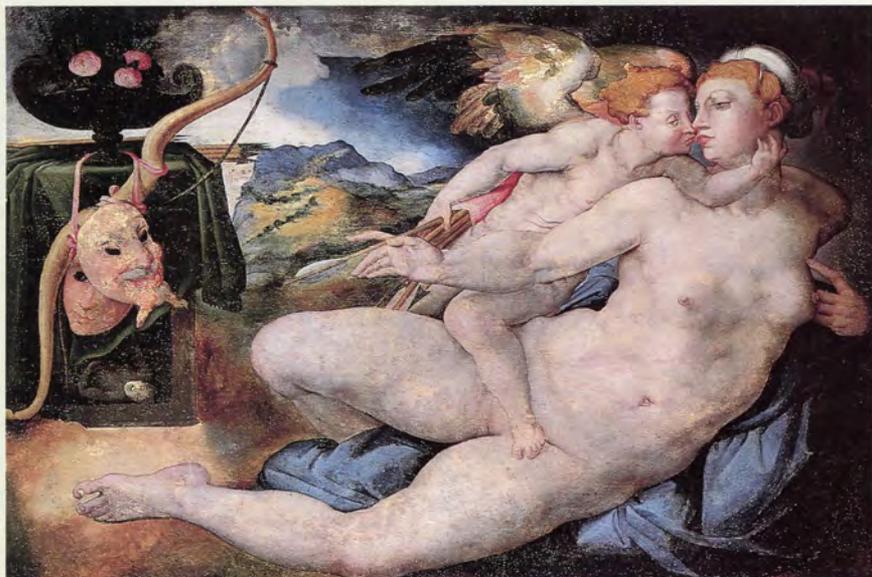
入場料 / 一般900円・高大生600円・小中生300円
(一般前売りおよび団体20名様以上は2割引)

〒760 高松市紺屋町10-4 Tel.0878-23-1711

主催 / 高松市美術館・毎日新聞社・山陽放送 後援 / 外務省・文化庁・ルーマニア文化省・ルーマニア大使館 協力 / 日本航空

16th-18th Century EUROPEAN PAINTINGS

from The National Museum of Art of Romania
and The National Brukenthal Museum



ブロンジーノ(ヴィーナスとキューピッド)ルーマニア国立美術館

ルーマニア国立美術館とトランシルヴァニア高原の南の縁に位置する地方都市シビウのブルケンタール国立博物館の美術部門には数多くの優れたヨーロッパ絵画が所蔵されています。本展覧会は両館の全面的な協力を得て、これらの優れたコレクションの精華ともいべき作品81点により構成されるもので、その多くが日本初公開の作品です。

本展に出品される作品は、たんに両館のコレクションを代表するばかりでなく、16世紀から18世紀にいたるヨーロッパ絵画を代表する巨匠たちの名作が数多く含まれています。フィレンツェ・マニエリスムを代表する画家ブロンジーノ、宗教改革の画家であり魅惑的な女性像で知られるクラナハ、バロック絵画の最大の巨匠とされ17世紀前半のヨーロッパ絵画に圧倒的な影響を及ぼしたルーベンス、光と闇のコントラストのうちに人間への深い愛情を詠いあげたレンブラント、炎のように妖しく燃え上がる形にたしかな信仰を託したスペインの奇才エル・グレコなど、いずれの作品も国際的に高い評価を得ている作品です。特にエル・グレコの《聖母の婚約》は、日本側の強い出品要望に応じて特別に出品されるもので、もちろん日本初公開の作品です。

この展覧会では、イタリア、フランドル、オランダ、フランス、スペイン、ドイツなどの国々のマニエリスムからバロック、ロココへと展開する絵画の時代的な流れと地域的な広がりを魅力あふれる作品によってたどることが出来ます。本展覧会とそこに展示される名作の数々をぜひお楽しみください。



レンブラント・ハルメンズゾーン・ファン・レイン
《エステルを許しを乞うハマン》ルーマニア国立美術館



オラーツィオ・ジェンティレスキ《若い母親》
ルーマニア国立美術館

●講演会のお知らせ

静物画—— マニエリスムから近代絵画市場の中の絵

講師 高山 宏(東京都立大学教授)

8月6日(日) 午後1時30分より 高松市美術館1階講堂にて
入場料無料 先着200名様

●次回展覧会のお知らせ

ポテロ展

10月6日(金)～11月5日(日)



ペーテル・パウル・ルーベンス(ネメアの獅子と闘うヘラクレス)ルーマニア国立美術館



ピーテル・ブリューゲル(子)《冬》ルーマニア国立美術館



アントニー・ヴァン・ダイク《チャールズII世と王妃ヘンリエッタ》
ブルケンタール国立博物館